

1 国語

科目名	国語	単位数	4	学年	第1学年	科 コース	全
使用教科書	三省堂 明解「国語総合」			副教材		「演習ノート」「明鏡国語辞典」浜島書店 「最新国語便覧」「高校漢字必携」 教員作成プリント等を使用	

学習の到達目標

1. 「話す」「聞く」「読む」「書く」及び言語事項など言語能力を総合的に学び、適切・的確に表現・理解する能力を育成し、言語を通して相互伝達・理解をする力を高める。
2. 思考力を伸ばし人間性を豊かにして、言語文化に対する関心・尊重を図る態度を養う。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	説話『宇治拾遺物語 児のそら寝』	文字の成り立ちや、いろは歌、五十音図との相関を教えながら歴史的仮名遣いを身に付けさせ、理解しやすい内容の教材に触れることで古文に親しませる。 表現に即して作者が訴え掛けているものを理解し、登場人物の性格・心情・行動などを読み取り作品の世界を読み味わいさせ、様々な状況の中で生きる人間への認識を深めさせる。
	5		
	6	小説『羅生門』	
	7		
二 学 期	9	漢文の世界へ 『故事成語』 『訓読のきまり』 『虎の威を借る』	漢文訓読法を理解する。何度も繰り返し音読して、漢文の読み方について理解する。 訓読のきまりや基本的句法を理解する。 訓読の基礎知識を習得し、独特の読み方に慣れさせる。 「漢詩の形式」を参考にしながら、漢詩の形式を理解させ詩の表現の特徴を理解させる。 考えること（思考）・思うこと（感性）という基本についてあらたに認識させ、小説風のエピソードを読み味わうことで人間について、また表現するという事について考える契機を持たせる。
	10		
	11	随想『ベトナムのコーヒー屋』	
	12		
三 学 期	1	物語『伊勢物語 筒井筒』	先人たちの生活の中における、和歌の重要性と、日本人にとって、千年を超える長きにわたって受け継がれていることの意義を感じ取らせる。 洗練された言葉の持つ美しさと深みを感じ、感性を養わせる。 本文を読みながら内容を理解させ、それぞれの和歌について理解させる。
	2	和歌『万葉集』『古今和歌集』 『新古今和歌集』	
	3		

学習評価

1. 基本的に定期試験（中間試験・期末試験）・実力試験・小テスト・課題の提出状況や授業態度などの平常点などを総合的に評価する。